

震災伝承プログラム

復興プロセスを学ぶ

石巻市北上町・東日本大震災



あの時から10年以上が経ったいま、私たちが選んで決めてきたことの
その先に、見えてきたこと、気付いたことがあります。

私たちの歩んだ復興への歩み。災害への備え、復興を考えるとき、
まずは、そのプロセスから知って欲しいと思うのです。

復興とは、誰のためのものなのか。

復興とは、誰が決めて、何が、どうなされたか。

災害が起きてからは、前に進むことでしか保たない心を抱え、
時間とお金とせめぎあい、後世へも引き継がれる大切な選択を
積み重ねていくことになります。
だからこそ、私たちの経験と復興の先にある今を見て
知っておいて欲しいことがあります。

平地の杜づくりから考える
事前復興計画を考える
震災復興プロセスを知る

震災伝承プログラム

石巻市北上町・東日本大震災

復興プロセスを学ぶ

[各プログラム共通]

基本料金 22,000円（10名まで・60分）

*11名以上は1名あたり2,200円加算

*平地の杜づくりボランティア体験料+400円（お飲み物・作業手袋代として）

*プログラムの内容や所要時間はご要望に合わせます

Program

1

震災復興 プロセスを知る



出所：東日本大震災アーカイブ宮城（石巻市）

北上地区の事例を元に、発災後、住民たちは行政とともにどのように歩んできたのか。住民たちの選択、そして、その合意形成から高台への防災集団移転、並行するあらゆる復興復旧工事、制度を含めて復興のプロセスについて知っていただくプログラムです。

所要時間 60分

Program

2

事前復興計画 を考える



このまちにとっての創造的復興とは、どのようなものだったのか。それを知っていただくことで、今後の災害に備える「事前復興計画」の必要性を知りたい。私たちの経験した復興から零れていた視点を交えて、事前復興計画を考えるプログラムです。

所要時間 60分

Program

3

平地の杜づくり から考える



この街の復興の終わりが、なぜ杜づくりだったのか。無かったことのようにリセットすることでない、この街の記憶、風や匂いを未来へ繋ぎたい。それを体現するために、一般的な杜づくりとは、全く違う手法で実践している「平地の杜」を見て知って頂くプログラムです。

所要時間 60分

体験型も
ご用意！

北上町の事例

北上町の復興プロセスは、住民たちの合意形成を、一般的な抽選などの手法は取らずに100%話し合いで進めてきたという大きな特徴があります。

また、あらゆる分野で同時進行



で進められる復興工事において、自治体、内外の支援者、そして住民たちが、しっかりとパートナーとして互いの役割を担い合ってきました。そんな事例をプログラムを通じてお伝え致します。

プログラム参加者の感想



事前復興まちづくりの必要性を実感しました。それに関連する教育や研究において、今からできることを考えたいです。



復興作業を行っているという状態は知っていたが、詳細について何も知らないことをプログラムに参加して感じた。一人ひとりの意見を大切にし、次の世代の人たちに継げるための行動・活動を事前に考えていきたいと思う。

お申し込み・詳細は下記へお問合わせください。

一般社団法人
ウェアーフン北上

メール wao.kitakami311@gmail.com

〒986-0201 宮城県石巻市北上町十三浜字白浜 30-3

ホームページ



被災した集落跡地を、自然へと預け直すプロジェクトが始まっています。私たちと一緒に杜をつくりませんか？ # 土中環境

平地の杜づくりプロジェクト
www.heichinomori.com

